『施設における感染症対策』

～介護職が実践する感染症対策（感染対策委員会の取り組み）～

小島　恵里　×　奥村　哲弥
Eri　Kojima　Tetsuya　Okumura

社会福祉法人あいの土山福祉会　エーデル土山

法人概要

滋賀県甲賀市土山町

特養	６５名
ショート	5名
ＤＳ	30名

介護施設

×

感染対策

エーデル土山
感染対策の基本的考え方

介護施設

抵抗力の弱い高齢者の集団。

感染

ゼロ」

困難

感染自体を完全になくすことは難しい。

感染は発生してしまうものと心得る。

たとえ、
感染が発生したとしても
その被害・拡大を最小限に！

①感染マニュアルの整備

こんな経験はありませんか？

明日[illegible]ぬたろう！

危険

そもそも

施設内部（利用者）から突発的に感染が発生することは考えにくい。

職員が感染源を持ち込むケースが多い。

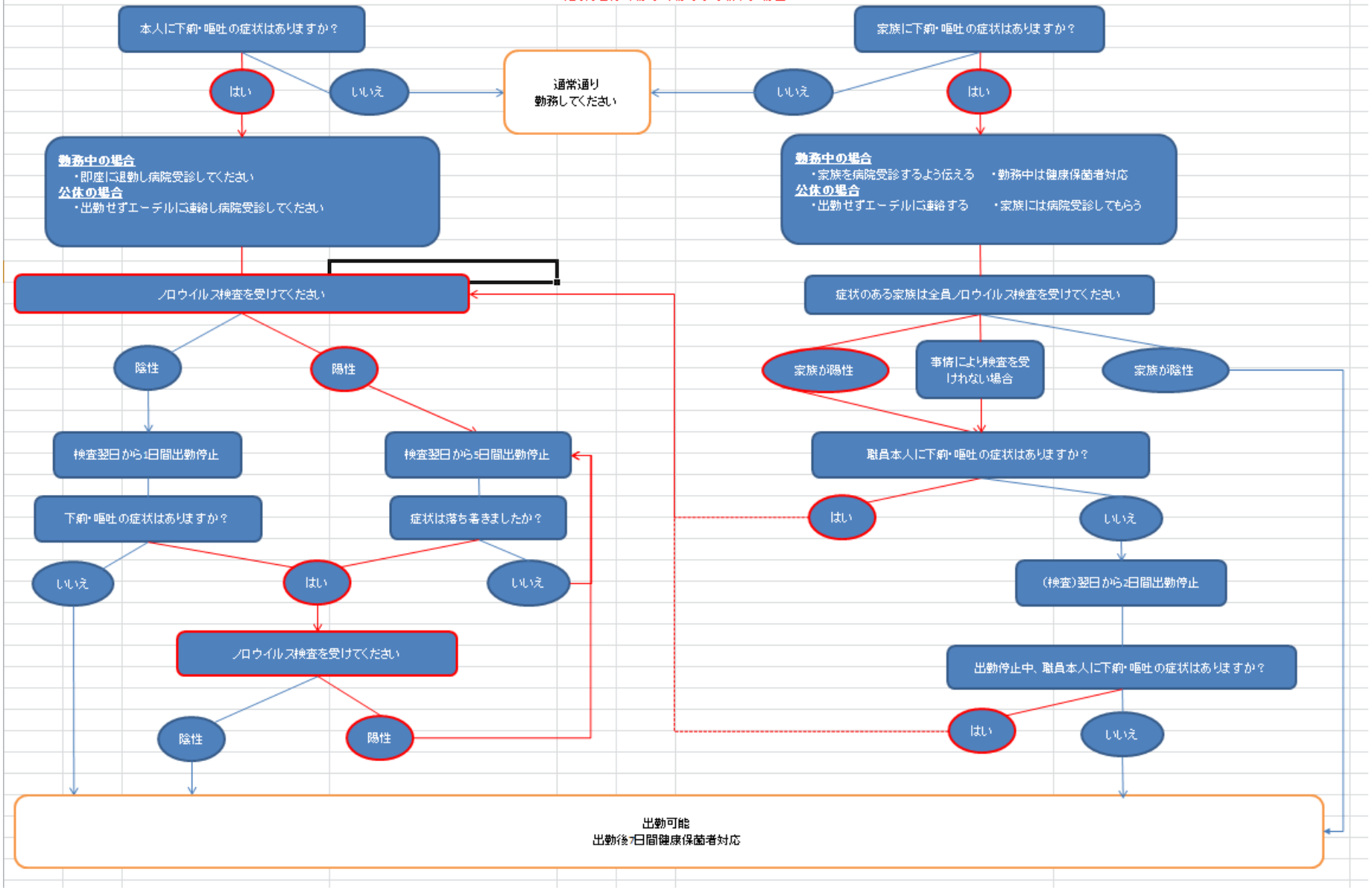
予め、明確なルールを決める

「フローチャート作成」

↓

感染源を持ち込まない。持ち込ませない。

ノロウイルス感染時の出勤条件
感染者が職員・職員の家族の場合



②吐物処理セットの設置

こんな経験はありませんか？

あ[illegible]袋は？

準備に時間がかかり、
肝心の処理が速やかにできない。

※感染拡大の危険性大！

※

FITTING GLOVES
FITTING GLOVES
かもしか
かもしか

③実践的感染研修の実施

今までの感染研修は・・・

「知識詰め込み型」

講義方式で感染に関する知識を
覚えてもらうことを目的にした研修

感染に対する基本的な知識向上は必要

でも・・

全く実践に活かせていない。

年2回実施

必ず感染流行時期前に実施する。

①実践を意識した感染研修により、確実に職員ひとり一人の感染予防意識が向上した。

②感染時期はもちろんのこと、感染時期以外でも適切な吐物処理が実施できるようになった。

③「突発的に嘔吐されても研修のおかげで混乱せず焦らずできた」という声も聞いています。

④施設内消毒

ソリュ

導入

どんな効果があるの？

・ノロウイルス予防に効果的

・手が荒れにくい

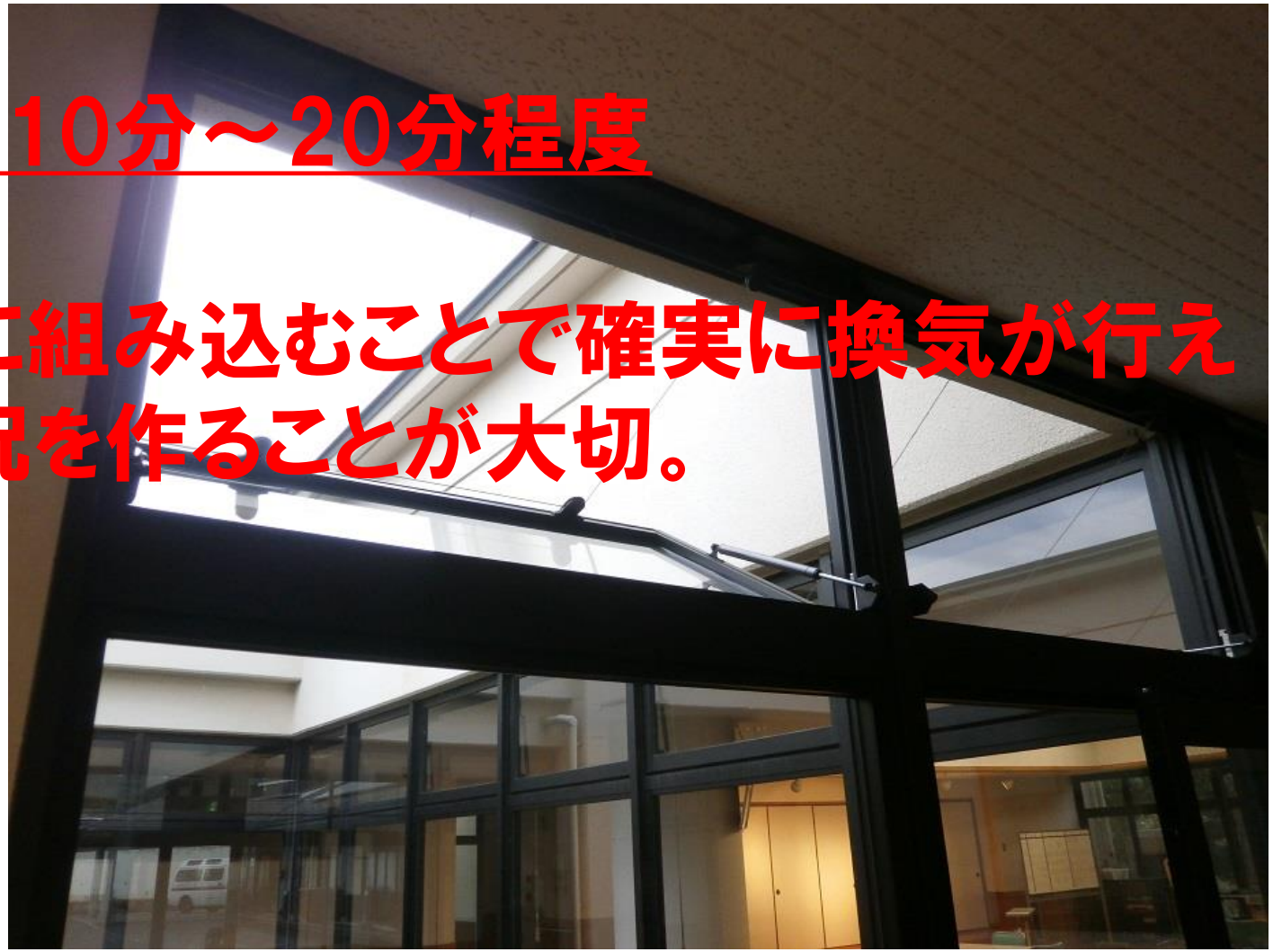
・ドアノブやベッド柵が錆びにくい

・飲用しても身体に害が少ない

感
毒

過去3年間施設内利用者のインフルエンザ、ノロウイルス感染者は「０」が続いています。

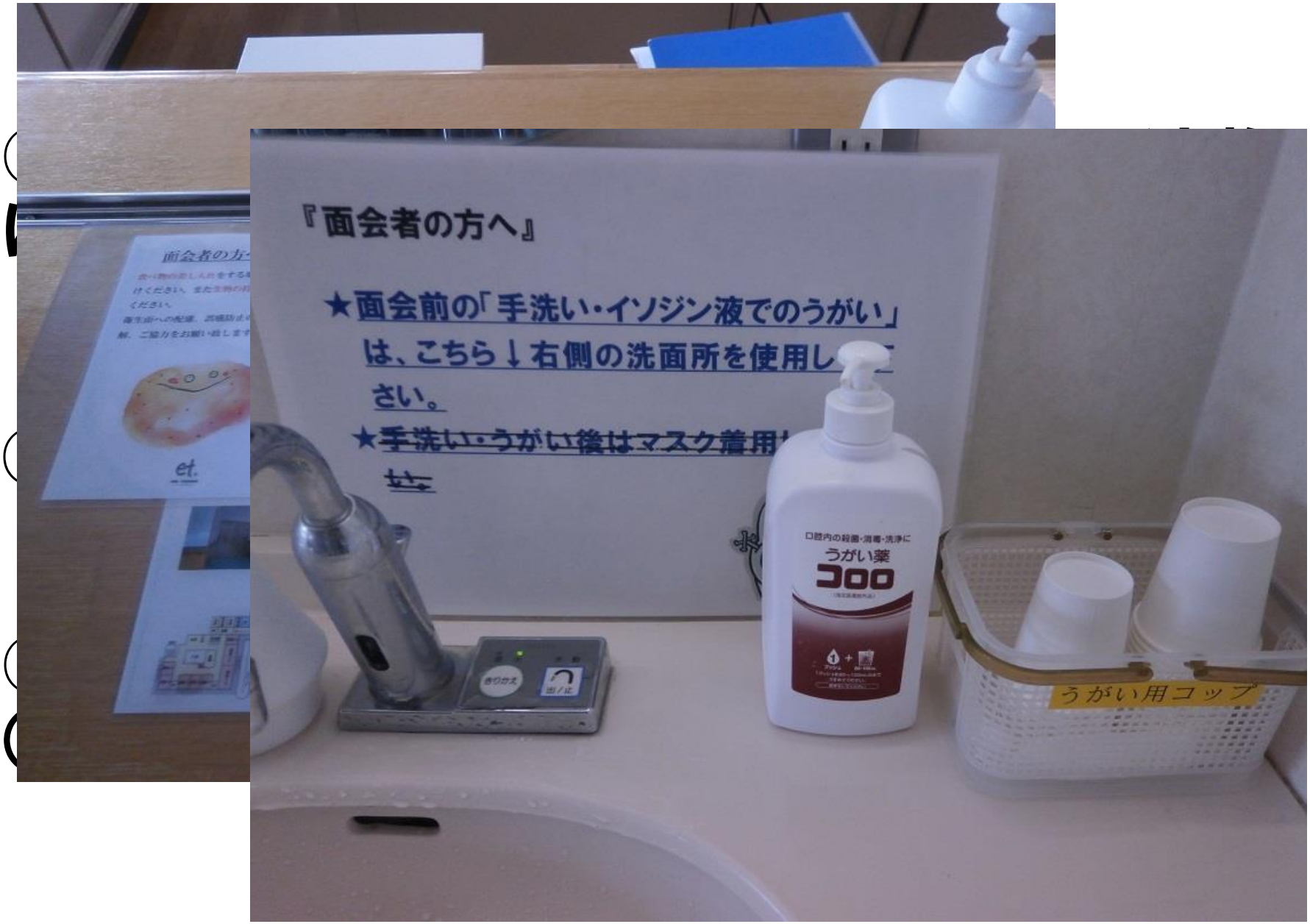
⑤換気の徹底



- 毎日、10分～20分程度

- 業務に組み込むことで確実に換気が行える状況を作ることが大切。

⑥御面会者への対応


『面会者の方へ』
★面会前の「手洗い・イソジン液でのうがい」
は、こちら↓右側の洗面所を使用し
さい。
★手洗い・うがい後はマスク着用
うがい薬
うがい用コップ

・当初、手洗い・うがいを面倒に感じておられるご家族も徐々に**理解と協力**を得られるようになった。

・手洗い・うがいをして施設に入ることが**当たり前の感覚**へ意識が変わっていった。

『介護施設と感染対策』

介護施設において感染を完全になくすことは難しい。

しかし、取組み方によっては、確実に『被害を最小限にする』ことは出来る。

施設における感染対策は
看護師だけでなく

介護職が中心となり、気づき、考え、
実践していくことが必要です。

～介 う～

Edel Tutiyama.

Copyright ©Edel tutiyama All Rights Reserved.